



Kumamoto City

News Release

水辺の動植物園 
熊本市動植物園

令和6年(2024年)9月3日

新しいイヌワシ・ムササビ・ツル舎がオープンします!

熊本市動植物園では、令和6年3月、イヌワシ・ムササビ・ツル(マナヅル、タンチョウ)舎を新設しました。この度、動物の移動が完了し、動物の状態も安定していることから、9月6日(金)9時に一般公開を開始します。

生息域外保全として教育的にも意義のあるこれらの動物をととして、施設利用者が身近な自然の大切さと生物多様性を学ぶことができるよう、新獣舎には分かりやすい解説パネルを設置しています。

今後、この獣舎にてイヌワシやタンチョウの繁殖にも取り組む予定です。

1 一般公開開始日時 令和6年(2024年)9月6日(金)9時

2 展示される動物について
別紙のとおり

3 留意点

- ・動物の健康状態によっては、一般公開開始日に展示できない場合がありますので、ご了承ください。
- ・取材にあたっては、一般のお客様の観覧の妨げにならないようご配慮をお願いします。



(問い合わせ先)

熊本市動植物園

園長 外山 誠(とやま まこと)

(担当)飼育展示班 上野、溝端

電話 096-368-4416

① ニホンイヌワシ

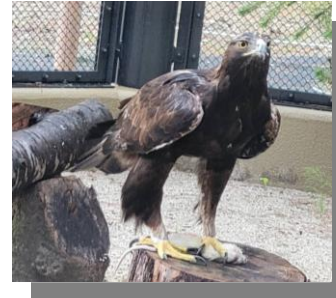
環境省レッドリスト 2020 絶滅危惧 IB 類 (EN)

熊本県レッドデータブック 2019 絶滅危惧 IA 類 (CR)

特徴: 国の天然記念物、環境省が特に保全の必要性が高い種だとして、国内希少野生動物種に選定した。獲物を狩るための鋭いクチバシと脚の爪をもつ。

飼育個体: 一颯 (イブキ) オス 2015 年 3 月 18 日生

松姫 (マツヒメ) メス 2021 年 4 月 24 日生



② ムササビ (ホオジロムササビ)

熊本県レッドデータブック 2019 準絶滅危惧 (NT)

特徴: 前脚と後脚の間に飛膜と呼ばれる膜があり、木から木へ飛び移る時に広げて滑空できる。

飼育個体: ハヤト オス 県鳥獣保護センター保護個体



③ マナヅル

環境省レッドリスト 2020 絶滅危惧 II 類 (VU)

熊本県レッドデータブック 2019 準絶滅危惧 (NT)

特徴: 10月頃、越冬のため中国から飛来してくる。

鹿児島島の出水平野は世界屈指の越冬地で、国の天然記念物に指定されている。

2024 年、熊本県玉名市横島干拓でも越冬が確認された。

飼育個体: マナ オス 県鳥獣保護センター保護個体



④ タンチョウ

環境省レッドリスト 2020 絶滅危惧 II 類 (VU)

特徴: 国の特別天然記念物。頭頂が赤く、丹頂と名前の由来となっている。(丹は赤いという意味)

飼育個体: ヒカリ オス 2003 年 6 月 3 日生

ハシ メス 2007 年 5 月 31 日生



※1 環境省レッドリスト 2020 カテゴリー説明

絶滅危惧 IB 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧 II 類 (VU) 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT) 現時点での絶滅危険度は小さいが生息域の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

※2 熊本県レッドデータブック 2019 準絶滅危惧 (NT)

絶滅危惧 IA 類 (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

準絶滅危惧 (NT) 損傷基盤が脆弱な種、現時点での絶滅危険度は小さいが生息域の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの

●各動物の日本国内飼育頭数と園館数 (2024年3月更新情報)

(園館数は日本動物園水族館協会加盟園館)

イヌワシ 37 頭 (オス 23 頭、メス 12 頭、不明 2 頭) 7 園館

ムササビ 29 頭 (オス 15 頭、メス 14 頭) 16 園館

タンチョウ 111 頭 (オス 60 頭、メス 49 頭、不明 2 頭) 36 園館

マナヅル 33 頭 (オス 22 頭、メス 11 頭) 20 園館